

「栄養ワンダー2018」実施報告 事例集

<期間>

平成 30 年 6 月 23 日(土)~9 日 7 日(金)

<活動先>

医療施設、介護福祉施設、事業所の給食施設、管理栄養士・栄養士養成校、行政および小・中学校を中心に 1,296 カ所（うち管理栄養士・栄養士養成施設 85 校）

<対象>

全国 214,174 人

<参加した管理栄養士・栄養士>

5,544 人

本事例集は、上記活動先から一部をご紹介します。

栄養の 

たのしく食べる、カラダよろこぶ

8/4 栄養の日 8/1→7 栄養週間

公益社団法人日本栄養士会

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 およこ食育教室 】 テーマ：バランスの良い食事について～乳製品・果物の取り入れ方について～
実施日・時間	平成 30 年 8 月 4 日 10：00～12：40
実施場所	南アルプス市かがやきセンター
対象者	市内在住の小学 1 年生親子
対象者数	39 人
主催者人数	管理栄養士 1 人、その他（南アルプス市食生活改善推進委員会 17 名）
事前準備	食事バランスを確認するためのランチョンマットを作成。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	9：45～ 受付・はじめの会 10：20～ 食改推による食事バランス・朝食について食育講話 10：40～ サンプルングを取り入れた調理実習 12：00～ 試食 12：20～ 栄養士による栄養の話・サンプルング紹介 12：30～ サンプルング配布
イベントを通じて得られた効果	イベント当日が栄養の日だったので栄養の日を周知する良い機会となった。食事で不足しがちな乳製品と果物の取り入れ方について話す良い機会になった。
エピソード （対 対象者）	サンプルングを調理実習のメニュー（ヨーグルトゼリー）に取り入れたのでおいしかった、家でも作りたいという感想が聞かれた。思いがけないお土産に喜ぶ姿がうかがえた。
エピソード （対 主催側）	子どもにもわかりやすい資料だったので話の導入がしやすかった。サンプルングがあると参加者が興味をもって話を聞いてくれるので助かった。
イベント後の新たな取り組み	子どもたちに料理を作る楽しさやバランスよく食事をとることの大切さを伝えるための料理教室を継続して実施していきたい。
次期実施者へのメッセージ	様々な方に栄養の日や、食事の大切さを伝える良いきっかけになると思います。サンプルングや資料を上手に活用して多数の方に興味をもってもらえるイベントになるよう応援しています。
所属職域	公衆衛生

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養の日】 テーマ：栄養障害の二十負荷
実施日・時間	2018年8月4日
実施場所	マルエツ キッチンイーとぴあ 17店舗
対象者	マルエツ来店のお客様
対象者数	3666人
主催者人数	管理栄養士 2人／栄養士 7人 その他(10名)
事前準備	協賛商品チラシ掲載のため他部署と調整、店舗売場担当者及びキッチンスタッフへ指示連絡の徹底(販促資材表、作業指示書)、前日に資材到着状況の確認
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (マルエツ情報誌「くらし方録 7月号.8月号、店内有線放送)
当日の流れ	9:00 出勤 10:00 開店に合わせて栄養相談と試食の開始 17:00 片付けと報告書の記入と送付準備 18:00 終了
イベントを通じて得られた効果	来店されているお客様の栄養に関する関心度が分かり、どの層にどのようなアプローチをして行くべきかのイメージを描く事が出来た。
エピソード (対 対象者)	災害級の暑さだった今年の夏。当日も暑かった為、「熱中症対策」というキーワードを出すと、より関心を持って頂けた。試食提供メニュー「野菜のパンケーキ」はお子様～高齢者まで幅広く興味をもっていただけた。
エピソード (対 主催側)	大変ではあったが盛況であり、良いイベントであった。 やりがいも感じたし、勉強にもなった。 配布資料・説明内容が多く、時間に余裕がない方には伝えきれなかった。 1枚で分かりやすい資料があるとよい。
イベント後の新たな取り組み	来年の栄養の日に向け、キッチンで定期的に事前周知を兼ね、「栄養」に特化した提案を行う予定
次期実施者へのメッセージ	TVから情報を得ている方も多く、正しい情報をお伝えする事が大事なので、日頃から情報収集を欠かさないようにしておく必要があるように思う。
所属職域	勤労者支援

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 立命館大学スポーツ健康科学部 オープンキャンパス 】
実施日・時間	2018年8月5日(日)9:30~13:30
実施場所	立命館大学 びわこくさつキャンパス
対象者	オープンキャンパス参加の高校生とその保護者、オープンキャンパスサポートの大学生、事務室、陸上部
対象者数	99人
主催者人数	管理栄養士 4人
事前準備	同行した父母にも別室にて行った。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ())
当日の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養ワンダーブックを使って対象者に栄養の重要性を伝える (10分) ・協賛社提供商品について、それぞれの特徴や食生活への取り入れ方などを伝える。(10分) ・協賛社提供商品を配り、その場で食べてもらう→ごみの回収 (7分) ・最後に配布カードを使ってのアンケートの回答を依頼する。(3分)
イベントを通じて得られた効果	栄養ワンダーブックを使って対象者にわかりやすく伝えることで栄養の重要性を知ってもらえた。
エピソード (対 対象者)	ゴールドキウイとグリーンキウイの栄養価の違いについて初めて知ったとの意見が多かった。
エピソード (対 主催側)	高校生や保護者のみならず、在校生や職員にも管理栄養士・栄養士の活動について知ってもらえた。また大学関係者からも「取り組みを通じ栄養の大切さを理解した」との意見があった。
次期実施者へのメッセージ	荷物の受け取り・保管が大変。 日本栄養士会、各協賛企業から別々 (受け取り日もバラバラ) で荷物が届き、種類も多いため、保管場所を確保することが必要。
所属職域	研究教育

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【暑さに負けない！経口補水液手作り体験会・夏バテ予防漢方のすすめ】 テーマ：夏バテ・脱水予防		
実施日・時間	30年 8月 24、25日 10:00～16:00		
実施場所	薬局待合室		
対象者	外来患者・地域住民		
対象者数	48人		
主催者人数	管理栄養士2人、その他（薬剤師9人、登録販売者2人、事務3人）		
事前準備	1か月半前よりホームページ、薬局ブラックボード、チラシ配布、地域住民へのポスティングを実施した。また、試飲・サンプル提供も実施できるよう準備した。		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（■ ポスター ■ チラシ □ ホームページ） ■ 自施設のホームページ ■ 独自に作成（□ ポスター ■ チラシ ■ その他（待合室ブラックボード） 		
当日の流れ	時間まで手作り経口補水液用のキウイ処理、黒酢試飲の準備、塩あめの設置、その後、時間内は外来患者へ声掛けと、チラシ持参の方へ経口補水液の手作り体験会を実施。そのほかの方へ黒酢の試飲、塩あめのサンプル提供を呼び掛けした。また、夏バテ、脱水についての情報提供と、指導・アドバイスを実施した。		
イベントを通じて得られた効果	一番は、薬局に管理栄養士が在籍している、ということに驚かれている方が多く、管理栄養士在籍の認知に貢献できたのではないかと感じた。経口補水液手作り体験会を通じて、夏場の脱水の危険性が伝えられたように感じた。		
エピソード （対 対象者）	経口補水液手作り体験会でしたが、参加者と一緒に作っていくうちに、食事に対する不安や、体調など参加者からお話して頂く場面が多かったです。管理栄養士がいつでもいる、という認知をしていたが、後日栄養相談に来局された方がいらっしゃいました。		
エピソード （対 主催側）	今回初めて、イベント周知の為、地域住民の方へ向けたチラシのポスティングを実施しました。通常イベントだと、外来患者向けのチラシの配布がメインでしたが、ポスティングのチラシを見てきました、という参加者もいらっしゃいました。		
イベント後の新たな取り組み	地域の方へ向けた体験会や、介護予防相談会など、今後実施を検討しているところです。今回のイベントの反省をもとに、新たなイベントとして取り組んでいきたいと考えています。		
次期実施者へのメッセージ	参加者が楽しんでいただけることはもちろんですが、企画する私たちも楽しんでいくことが大切だと思います。		
所属職域	地域活動		
実施主体	杏仁薬局	所在地	山形県米沢市中央6丁目1-223-1
電話番号	0238-21-3646	担当者	鈴木 千恵

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 管理栄養士さんによる無料栄養相談会 】 テーマ：健康サポート薬局の一環として（薬剤師と管理栄養士の健康サポート）		
実施日・時間	7月30日～8月1日		
実施場所	ハートフル薬局 大阪府門真市島頭3丁目3-5		
対象者	地域住民、薬局利用者など		
対象者数	162人		
主催者人数	管理栄養士 1人、その他（薬剤師 3～4人）		
事前準備	地域住民へチラシのポスティングや薬局利用者への事前案内を行った		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（SNS））		
当日の流れ	13:00～17:00 個別栄養相談は基本事前予約制としていたが、空いている時間に飛び入り参加も可とした。薬局来局者に対して、栄養アンケートを行い、アンケートを記載してもらった方に薬剤師が声をかけながらお話しし、サンプリングの配布を行った。 また、日替わりで“栄養おやつ”（管理栄養士手づくりの）の試食・レシピ配布を行い、おやつでの栄養補給の提案も行った。		
イベントを通じて得られた効果	薬局でも栄養や食に関する相談ができるということを知ってもらえた。		
エピソード （対 対象者）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養おやつのレシピを気に入ってくださった方が、帰ってから作って近所の人におすそ分けしたよ！と翌日薬局にわざわざご報告に来てくださった。 ・病院で栄養指導を受けたが、いろいろ言われ、制限がきつすぎて何を食べていいかわからないと悩んでいる方が栄養相談に来られ、優先順位を整えてあげると気持ちが楽になったと帰っていかれた。 		
エピソード （対 主催側）	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師さんも栄養おやつを気に入ってくださり、子供のおやつにいいなと評判よかった。 ・薬局でのインシユア発注が1件あったとのことで、このイベントをきっかけに定期的に関わる患者さまもきた。 		
イベント後の新たな取り組み	定期的に薬局待合室を利用し、栄養セミナーを2ヶ月に1回開催していた。リピーターさんもあり、自分の身体や食について振り返るきっかけを薬局でも提供できている。		
次期実施者へのメッセージ	事前準備や集客が大変ですが、楽しいイベントであり、実施者自身の新たな発見の場でもあるため、ぜひいろんなところで開催してほしいです。		
所属職域	地域活動		
実施主体	有限会社ハッピーハートフル フル薬局	所在地	大阪府門真市島頭3丁目3-5
電話番号	072-834-6780	担当者	小田隆久（薬局代表者） 小林美貴（管理栄養士）

「栄養ワンダー2018」実施報告



8月1日〜7日は栄養週間です 8月4日は**栄養の日**

ハートフル薬局発! たのしく食べる、カラダがよるこぶ

栄養ワンダー 2018

イベント実施期間 **7/30月・31火・8/1水**

参加費無料 各日 午前10時〜午後5時開催
※受付で「栄養ワンダーアンケート」申込とお伝えください。

要予約 管理栄養士さんによる **個別栄養相談**
 各日 午後1時30分〜午後5時 各一人様 30分単位
必ずお電話にてご予約ください。

この機会に、**管理栄養士さんA**に「**栄養の楽しみ方**」を聞いてみませんか? 毎日のご予約へご来店お待ちしております!

アンケートにお答えいただいた方へプレゼント!
特典 栄養ワンダーブックプレゼント

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー】 テーマ：食事（栄養）の大切さを伝える。楽しく食事を食べる。		
実施日・時間	2018年7月26日		
実施場所	医療法人社団三思会 東邦病院		
対象者	食堂利用の患者家族、職員		
対象者数	200人		
主催者人数	管理栄養士 2人		
事前準備	事前にポスターを掲示、栄養のことや食事のバランスについて啓蒙		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（食事について）		
当日の流れ	野菜ジュースは3日前（23日に届く）＊前日にパンフレット等の仕分け 11:30 キウイ、ヨーグルト到着 12:00～対象者にパンフレット、野菜ジュース、キウイ、ヨーグルト配布 2回15分くらい、管理栄養士による栄養についての講和 13:30～終了		
イベントを通じて得られた効果	栄養については関心があるが、大半の人がどのように組み合わせて食べるか。どのくらいの量を食べているのかについて「理解されていない。」「知りたいと思っている。」ことがわかった。		
エピソード（対対象者）	お声がけをしながらキウイなどをお配りすると（透析患者）自分は気をつけなくてはいけないから・・・と、きちんとお答えくださり、栄養士さんから話を聞いているよ。なるべく守るよう心がけている。食事はだいじだよね。と話をしてくれました。		
エピソード（対主催側）	初めての参加で、上手くできるか心配をしていました。お昼時が一番対象者が集まるので企画しましたが、思った以上に人が押し寄せ「食事の話」聞きたい、話したい人がいることが分かりました。		
イベント後の新たな取り組み	もともと外来に昼の食事を掲示して、「健康と栄養の話」を張り出していますが、内容の見直しをしてより分かりやすくしています。アンケート用紙をつけご意見をお願いしています。		
次期実施者へのメッセージ	キウイ、ヨーグルトが当日到着だったので、前日にする。ポスターも大きく食事についてのオリジナルを作成啓蒙をすると良い。		
所属職域	医療		
実施主体	東邦病院 栄養科	所在地	群馬県みどり市笠懸町阿左美 1155
電話番号	0277-76-6311	担当者	五十嵐 桂子

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【健康相談会】テーマ：栄養の日の周知を図るとともに、健康相談会の内容を充実させる		
実施日・時間	平成30年7月14日（土） 14：00～16：00（オリーブ薬局）／14：00～15：30（ラベンダー薬局）		
実施場所	オリーブ薬局・ラベンダー薬局		
対象者	近隣の住人、薬局利用者		
対象者数	15人		
主催者人数	管理栄養士 3人／栄養士 3人、その他（薬剤師 4人 事務職員 2人）		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・各種サンプル（試食品）の保管方法 →当日クーラーボックスにて保管 ・約1か月前から栄養ワンダー及び健康相談会の告知 		
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））		
当日の流れ	<p>【オリーブ薬局】</p> <p>14：00 健康相談会 開始</p> <p>14：30 シナプソロジー（脳活性化体操）</p> <p>14：50 栄養の日講話</p> <p>15：00 血管年齢・忘れ物相談プログラム・ヘルスジャッジ（食事分析）・栄養相談</p> <p>16：00 健康相談会終了</p> <p>【ラベンダー薬局】</p> <p>14：00 健康相談会 開始</p> <p>物忘れ相談プログラム（随時）/栄養士・薬剤師による健康相談（随時）/試食・試飲（随時）</p>		
イベントを通じて得られた効果	定期的で開催している健康相談会にプラスして、栄養に関する講話を行いました。参加者の方から講話の内容についての質問を頂き、栄養に関して興味を持たれている姿が見受けられました。その為より一層、健康相談会の内容を充実させることができましたと思います。		
エピソード（対 対象者）	<ul style="list-style-type: none"> ・試食の多さに驚かされていた ・アンケート結果より大変参考になったといった意見があった。 ・栄養ワンダーの試食の商品に関心を持っていただいた。 		
エピソード（対 主催側）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養の日に関する冊子、リーフレットなどがあり大変説明しやすかった。 ・試食のザ・グreekヨーグルトが美味しいとの声を頂き、仕入れをしました。 <p>たんぱく質の不足しがちな方に紹介しています。</p>		
イベント後の新たな取り組み	減塩の商品や糖質コントロールの商品、スマイルケアの商品などを陳列し、お客様の栄養の状態に合った商品を紹介かつ栄養相談に対応しております。		
次期実施者へのメッセージ	試食品の衛生面と試食の商品の温度管理の徹底に気を付けていただき、参加して下さった方たちに栄養ワンダーの周知や栄養士・管理栄養士に気軽に栄養相談をしてご自身の健康の役に立てて欲しいことをアピールできればと思います。		
所属職域	地域活動		
実施主体	(株)ピー・アンド・エス	所在地	秋田県秋田市仁井田新田1丁目1-40
電話番号	018-874-7670	担当者	ラベンダー薬局 荒関 琴美

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【地域包括支援センターとの共催による栄養ワンダー（夏休み特別企画）】 テーマ：運動も大事ですが、まずその基になる栄養の事を考えてみましょう！		
実施日・時間	8月3日（金）13：00～15：00		
実施場所	広島市中区竹屋町公民館 講義室		
対象者	地域包括支援センター主催の高齢者の『脳活性化の集い』運動や健康情報を伝える集いに参加される高齢者60歳～80過ぎの方まで。		
対象者数	20 人		
主催者人数	管理栄養士 1 人、地域包括支援センターの保健師 2 名、フリーの健康運動指導士 1 名		
事前準備	日頃から、関わっている活動拠点の事業なので、なるべく時間帯や場所等を通常の開催時と同じにして公民館等でもチラシを配布した		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（■ ポスター □ チラシ □ ホームページ） ■ 独自に作成 （■ ポスター ■ チラシ ■ その他（ 医院や地域包括支援センターの行事などでの呼びかけ） 		
当日の流れ	13時30分より音楽を流しながらの1時間弱の軽い運動を実施し、休憩水分補給をはさんで、管理栄養士による『私たちの体を動かすのは、私たちの食べたものでしか補えないのです』という今年のテーマに沿った話を1時間弱講話。 その後、協賛会社の提供品を配付しながら説明、質問に答えながら終了。		
イベントを通じて得られた効果	運動をした後で、『私たちが動くエネルギーは、ガソリンではなく私たちが口に入れたものでしか賄えない』という話はかなりインパクトがあり、栄養の話がより身近に感じられたと思います。（日頃栄養の話をしている集いではありますが、栄養士の存在も改めてアピールできたと思います）		
エピソード （対 対象者）	『口から食べると動けんわね』『ほんとじゃね』ととても身近に栄養の事を感じてもらえました。		
エピソード （対 主催側）	今回ではなく、提供品が余ったため、勤務先の医院で1日限定で来院者を対象に栄養ワンダーを開催した際に、提供品があったため、日頃声をかけにくい方にも『職場で飲んでください』と野菜を摂取することの意義等の声掛けができた。		
イベント後の新たな取り組み	医院での小さなイベントを、管理栄養士主催で気軽に開催できる下地ができました。 糖尿病週間に飲み物の糖質含有量の展示や、血糖に関連するポスターやチラシを配付し、気軽に相談してもらえる状況が出来つつあります。		
次期実施者へのメッセージ	小さな会でも良いと思います。まず栄養の事を考えるきっかけづくりの会として始めてみてください。 『私たちの体は私たちの食べるもので支えるしかない』ことを教えてあげましょう。		
所属職域	医療		
実施主体	こうもないかいいん 河面内科医院 管理栄養士	所在地	広島市中区富士見町 5-6
電話番号	082-249-5456	担当者	管理栄養士 伊藤 教子

「栄養ワーカー2018」実施報告

イベント名	【 第 3 回 かねみつ栄養教室 】 テーマ：もしかしたら貧血かも？ 一日三食、主食・主菜・副菜の3つを揃えましょう!!		
実施日・時間	2018年7月26日 14:00～15:30		
実施場所	かねみつ内科クリニック		
対象者	外来患者、地域住民の参加も可		
対象者数	36人		
主催者人数	管理栄養士 1人 その他（医院長1人、医療事務2人）		
事前準備	わかりやすい講話内容の準備（スライド作成、配布資料作成） 途中のブレイクタイムの準備（軽いストレッチ体操の組み入れ） サンプル商品の説明準備（サンプル商品の理解と配布準備）		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
当日の流れ	13:00～会場設営 13:45～受付 14:00～院長あいさつ 14:15～講話 14:50～ブレイクタイム 15:00～サンプル商品の配布、試食、説明（上手な利用法など） 15:25～閉会		
イベントを通じて得られた効果	特化した栄養素だけに着目するのではなく、毎日一日三食をしっかりと、主食・主菜・副菜の3つを揃えることが、低栄養予防の基本であることを理解していただけたと感じた。そして、毎日の食事バランスを大切にしながら、自己の食事量や消化能力にあわせて、サンプル商品（野菜ジュースやヨーグルト）を利用する意味もお伝え出来たと感じる。		
エピソード（対 対象者）	ヨーグルトのおいしさに感激されている方が多かった（後日、どこで売っているのかという問い合わせがあり驚きました）。		
イベント後の新たな取り組み	患者への積極的な声掛け。次年度実施に向けてのリサーチ。		
次期実施者へのメッセージ	サンプル商品の配布準備など、普段の講話の時よりも仕事内容が多くなりますが、参加者の皆さんの関心は寄せやすいです。1年に1度の恒例イベントとして定着させ、管理栄養士・栄養士の存在を身近に感じていただけるように働きかけることが大切だと思います。		
所属職域	地域		
実施主体	アクティブ Life	所在地	京都市右京区常盤音戸町 11-11-103
電話番号	090-6974-4328	担当者	細井佳代子

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 住み慣れた渋谷で いつまでも暮らしていけるような 栄養のヒント 】 テーマ：毎日の食事から低栄養や野菜不足等を意識付ける“栄養の足し算”を知る		
実施日・時間	2018年8月25日 13:45~14:45		
実施場所	社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団 あやめの苑 代々木 デイサービス		
対象者	65歳以上の介護支援または要介護者、地域で介護に携わっているご家族等		
対象者数	30人		
主催者人数	管理栄養士 1人／栄養士 1人 その他（音楽セラピスト1人）		
事前準備	対象者への内容の確認、飽きない時間配分、商品説明のアプローチ方法など		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（■ ポスター ■ チラシ □ ホームページ） ■ 自施設のホームページ ■ 独自に作成（□ ポスター □ チラシ ■ その他（Facebookのイベント掲載）） 		
当日の流れ	<p>13:00 配布物セットづくり</p> <p>13:45 東京都栄養士会 古川慎二「栄養の足し算のお話し」（25分）</p> <p>14:15 日本音楽療法学会 吉岡リサ「口腔リハビリと歌唱による 摂食嚥下機能訓練のお話し」（30分）</p>		
イベントを通じて得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の食事の中に足りないものに気付く！・足りない栄養はひと工夫で簡単に足し算！ ・むせなく食べるためには口腔リハビリ・嚥下機能の低下予防訓練の方法を身に着ける 		
エピソード (対 対象者)	低栄養やフレイルに簡単に気付く方法を教えるとみんなですぐ動作に移り（指輪つかテスト）確認していた。デイに来ている方は意外とご自分の健康に気を付けている方が多い。デイサービス参加を楽しみにしている意識が高い方が他の方へ声掛けをしている。		
エピソード (対 主催側)	今日の話了他の方にも教えてあげて声掛けをしているので意識が高い印象だった。ギリシャヨーグルトの栄養価の事はビックリしていた。		
イベント後の新たな取り組み	販促物がなくてもこの企画と似たような栄養教室を月に一度は開催されるようになった。栄養士だけの真面目な話だけではなく楽しんでもらえる企画も要望されるようになった。		
次期実施者へのメッセージ	対象者へのニーズに合わせる事と販促品のアピール内容をうまくマッチングさせて、食事や栄養への関心を深めるきっかけの楽しいイベントにして欲しいと思った。		
所属職域	医療事業部（東京都渋谷区）		
実施主体	栄養ケア・ステーション Bee in 渋谷	所在地	東京都渋谷区東 1-20-2-103
電話番号	03-6435-5460	担当者	古川慎二

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【ヘルシークッキングセミナー秋編 ～試作・勉強会～】 テーマ：食生活改善推進員のスキルアップ		
実施日・時間	平成 30 年 8 月 22 日		
実施場所	南足柄市保健医療福祉センター 栄養実習室		
対象者	南足柄市食生活改善推進団体ばせりの会		
対象者数	43 人		
主催者人数	管理栄養士 1 人		
事前準備	試食やパンフレットなどを指定の袋に入れるなど、規定に沿って準備した。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（団体の定例会で口頭で周知）		
当日の流れ	① 9：00～ 栄養ワンダーブック 2018 を用いて講義、試食提供 9：30～ ヘルシークッキングセミナーの講義・調理実習・試食（～12 時） ② 9：00～ 栄養ワンダーブック 2018 を用いて講義、試食提供 13：30～ ヘルシークッキングセミナーの講義・調理実習・試食（～16 時）		
イベントを通じて得られた効果	食生活改善推進員より、最新の栄養情報を学んだことで、講座での市民へのアドバイス内容や献立を見直すきっかけになったとの声があった。		
エピソード （対 対象者）	立派な冊子やパンフレットが見やすく、楽しく学べた。実際に食べてみないと知人に勧めにくいいため、試食があってよかった。昔とは違う栄養面の問題を知り、時代の流れを感じた。		
エピソード （対 主催側）	市栄養士 1 人では、食育推進は困難である。地域の食育活動の担い手である食生活改善推進団体に現在の栄養問題を知ってもらうことで、推進員の家族やその知人といったように、徐々に浸透していくことを願っている。		
イベント後の新たな取り組み	最新の情報に興味津々であったため、食生活改善推進員向けに最新の栄養情報を提供する機会を増やすとともに、衛生教育などの勉強会も行った		
所属職域	公衆衛生事業部		
実施主体	南足柄市健康づくり課	所在地	神奈川県南足柄市広町 48-5 南足柄市保健医療福祉センター
電話番号	0465-74-2517	担当者	管理栄養士 西 美葉子

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【平成30年度給食施設従事者研修会】 テーマ：適切な栄養管理を実施するための基礎知識と安心・安全な給食を提供するための衛生管理の知識を習得し、適切な給食の提供をする。		
実施日・時間	平成30年8月6日(月)13:30～16:30		
実施場所	都留文科大学		
対象者	栄養士、調理員他		
対象者数	447人		
主催者人数	管理栄養士5人／栄養士3人 その他（富士・東部保健福祉事務所 所長、課長、事務職各1名、計3名）		
事前準備	富士・東部保健福祉事務所と連携をし、栄養ワンダーについてご理解をいただいた。また、栄養士会富士・東部支部の会員に呼びかけ、主催者としての参加を募った。文書にチラシを入れた。		
周知方法	■ 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ）		
当日の流れ	13:30～ 受付 14:00～ 開会 14:10～ 減塩の取組み事例発表（学校・施設）塩分の摂取について説明、衛生について 14:30～ 生活習慣病について講義(医師) 15:30～ 栄養ワンダーの資料説明 15:50～ 味覚テスト（ソルセイブ使用） 16:15～ 閉会、サンプル配布		
イベントを通じて得られた効果	今回は、施設の取組み事例や自分の塩分味覚域について知り、日頃の食生活や各職場において具体的に考えるきっかけとなった様子。 “栄養士会、管理栄養士・栄養士”をアピールするよい機会となった。話だけではなく食品を示すこともでき、対象に具体的に伝えることができた。		
エピソード (対 対象者)	時間をとって栄養ワンダーの資料を説明したため、よく理解をしていただくことができた。栄養士が多いためか、配布物についてもどのような商品か問われることも多かった。こちらから説明することで理解していただいた。		
エピソード (対 主催側)	対象者に大変喜んでいただき、達成感を感じることができた。次回は、多くの管理栄養士や栄養士に呼びかけ、主催者側を増やそうといった意見が多く聞かれた。買い物に行って、配布された商品を買うことが増えた。		
イベント後の新たな取り組み	栄養士会富士・東部支部の会員が、より結びつききっかけとなった。その後に在宅介護について研修会を行ったが、参加者が増えた。		
次期実施者へのメッセージ	一般の人が多く、今回のように内容をしっかり伝えられる時間が確保できれば、より効果が得られると考える。		
所属職域	公衆衛生		
実施主体	富士・東部保健福祉事務所 栄養士会富士・東部支部	所在地	〒403-0002 山梨県富士吉田市小明見 3-6-1
電話番号	0555-22-4466	担当者	外川 泉

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【早月加積地区公民館イベント】 テーマ：親子料理教室（親子で楽しく料理をすることで食への興味を深める。）
実施日・時間	平成30年7月28日（土）9時半～13時
実施場所	富山県滑川市 早月加積地区公民館
対象者	地区住民親子
対象者数	40人
主催者人数	管理栄養士1人、その他（公民館職員、公民館役員）
事前準備	事前に打ち合わせ等で栄養ワンダーについて、職員の方にお伝えすることで理解してもらえた。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	9:00～ 会場・食材準備 9:30～ 栄養ワンダーについてのお話し・献立説明 9:50～ 料理教室 11:30～ 試食・栄養ワンダーについてのお話し
イベントを通じて得られた効果	お子さんはもちろん、親や役員の方々にも栄養士について知ってもらい、興味をもっていただけた。料理教室では、子どもたちが積極的に作っていて、一生懸命にする姿や、順番に交代で作業したり、協力することも体験しながら料理を仕上げていった。すりごまをすったり、肉を切ったりすることは、家ではあまりしないようで、よい体験になった。
エピソード （対 対象者）	普段、家でなかなか親子で料理できていないという方が、参加できてとてもよかったと言っておられた。これを機会に家でもやりたいといったときにさせてあげたいという声があった。短時間で、しっかりとしたメニューを作り、試食し、お土産もあり、大変喜んでいただいた。
エピソード （対 主催側）	栄養士について、興味をもっていただけてうれしかった。どうやったらなれるか、どんな仕事があるか？など具体的に質問もあり、料理教室を通じて栄養士が身近な存在になれると感じた。サンプルでいただいた商品についても学べてよかった。
イベント後の新たな取り組み	その後の料理教室やイベントでも栄養の日のPRをした。
次期実施者へのメッセージ	栄養の日や栄養士について知ってもらいよい機会になると思います。体験をともなうことでより、伝わるのではないかと思います。
所属職域	地域活動事業部

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 N'fes 】テーマ：ヘルスリテラシーの向上
実施日・時間	2018年7月～8月 各企業様の昼食時間
実施場所	近畿エリアの5つの企業
対象者	食堂利用者
対象者数	3550人
主催者人数	管理栄養士 18人／栄養士 5人、その他（誘導人員、袋詰め作業等 20人）
事前準備	まず事前に栄養士の教育を実施し、当日を迎えました。教育内容は、今年度の内容がぎりぎりまで冊子等が無かったので、昨年度の振り返りや、その他当日に簡易測定や展示物を置きましたので、その内容の共有です。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）
当日の流れ	一番規模の大きい2500食の食堂での運営の場合 前日まで…資料の袋詰めの実施 前日…キウイの袋詰めの開始 100個分を終わらせる 当日…8時 現地集合、袋詰め開始約2400個を15名で(栄養士含む) 11時 袋詰め完了、セッティング開始 11時半 昼食時間 N'fes 開始！ 13時半 終了、片付け
イベントを通じて得られた効果	栄養士が健康イベントに参加し、栄養士としてのモチベーションをUP 栄養士としてお客様に話しかけることでの栄養士の認知度UP 弊社の健康事業アピール 簡易測定や、展示物を通して、お客様のヘルスリテラシーの向上 食堂利用者の満足度UP
エピソード （対 対象者）	健康イベントは「悪いってわかってるから…」と参加していただけない場面も多々あります。しかし、今回のサンプリングによって、お客様を積極的に展示物や簡易測定のコーナーにお招きすることができましたし、「え！知らなかった。もっとこういうイベントなら次回も参加します！」「測定結果また比較し隊から定期的に実施してほしい！」と、うれしいお言葉を頂きました。
エピソード （対 主催側）	主催者側は、キウイや冊子を詰めるのに必死でした。かなりタイトなスケジュールの中、動かなければならず、大変でしたが、お客様の喜んだ顔をみたらその疲れも吹っ飛びました。栄養士が生き生きと働いている姿も、とても嬉しかったです。
イベント後の新たな取り組み	その後、引き続き、健康イベントをお願いしたいとの声掛けをいただいている企業様もあり、サンプリングは有りませんが、健康イベントを企画運営しております。
次期実施者へのメッセージ	対象人数が多くなるほど、詰める作業は本当に大変です・・・笑。多くの方を巻き込み、開催に向けて、頑張ってください！
所属職域	地域活動

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 鳴見台小学校 6 年生親子レクリエーション】 テーマ：親子で味噌造り体験。 味噌、ヨーグルトなど発酵食品が持つパワーや発酵の仕組み、おいしさについて楽しく学ぼう！
実施日・時間	2018 年 7 月 22 日
実施場所	鳴見台小学校体育館（長崎県長崎市鳴見台 2-1-8）
対象者	小学生と保護者
対象者数	120 人
主催者人数	管理栄養士 1 人、その他（育友会スタッフ 12 名）
事前準備	栄養指導後に味噌造りを行うため、共催の川添酢造(有)との連絡。 実施場所が学校だったので校長に了解をとり、周知の為にチラシづくり。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）
当日の流れ	9：00～ スタッフによる資料（協賛各社からの配布資料）袋詰め 9：30～ 受付開始 ヨーグルトの配布 10：00～ 栄養指導開始（15分程度） 10：30～ 味噌造り 12：00～ 終了
イベントを通じて得られた効果	食事の大切さ、成長期の体に必要な栄養素などについて示すことが出来た。
エピソード (対 対象者)	「グリーンスキウイが熟すとゴールドスキウイになるとよね」との発言があった。栄養士が到底思いつかない事で、びっくりした。 ギリシャヨーグルトを初めて食べた人が多く、「ヨーグルトは嫌いだけど、これなら食べられる」との発言があった。
エピソード (対 主催側)	暑い時期の開催の上、今年は猛暑でヨーグルトの保管や配布には気を使った。 栄養ブックの内容を小学生向けに易化して伝えるようにした。
イベント後の新たな取り組み	特になし 造った味噌は、発酵期間が 2 ヶ月だったのだが、その期間は学校の子供たちが見ることが出来る場所に保管していたため、発酵の進み具合を子供たちが目で見たり、たまり（味噌の上澄み液）をなめたりして味噌が出来るまでを学ぶことが出来た。
次期実施者へのメッセージ	疾病を持っていない小学生と保護者に向けての実施でした。給食では実施することが出来ない内容での食育が出来たと思っています。栄養の日は夏休み期間中ですし、親子で栄養について学ぶ良い機会だと思います。
所属職域	医療

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【「栄養の日・栄養週間」イベント～毎日の食事をバランス良くするためのヒント！～】 テーマ：栄養への興味喚起（3社サンプリングの食事への提案含む）		
実施日・時間	2018年8月2日、3日、6日 11:00～13:00		
実施場所	社員食堂		
対象者	従業員		
対象者数	総計 180 人		
主催者人数	管理栄養士 1 人		
事前準備	「栄養の日・栄養週間 2018」の内容に沿った P P T 資料の作成		
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
当日の流れ	10:30 準備：イベントスペース設営 11:00 イベント開始 ① P P T 資料による自動プレゼンテーション ② 栄養士による栄養士会提供資材の説明と配付 13:00 イベント終了・後片づけ		
イベントを通じて得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・8と4でエイヨー等、「栄養の日、栄養週間」についての普及啓発 ・以下サンプリングを用いた食事の興味喚起 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルトで始める！手軽にたんぱく質補給の新習慣 ・キウイフルーツで栄養バランス、アップ！毎日の食卓に果物を取り入れよう ・賢く野菜を！野菜飲料で不足した栄養素をチャージ 		
エピソード （対 対象者）	「商品のサンプリングが良い！わかりやすい！仕事の合間のランチタイム、ココロとカラダに栄養を補給できた！」「このヨーグルトはどこで購入できますか」		
エピソード （対 主催側）	遠慮しながらも、サンプリングを喜んで受け取ってもらえた。3回のイベントでそれぞれほぼ全員の従業員からご好評をいただき、有意義なイベントになり、目的が達せられた。		
イベント後の新たな取り組み	生活習慣病予防の発症予防と健康の保持・増進のためのイベントの定期開催		
次期実施者へのメッセージ	実施して良かったです。堅苦しい内容や手の込んだイベントではなくても、短時間で楽しく理解、認識できる、より効果的な支援・アプローチができました。		
所属職域	勤労者支援事業部		
実施主体	日本無機(株)結城工場社員食堂	所在地	茨城県結城市結城作 415 番地
電話番号	0296-32-2101	担当者	林 道子

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【熱中症と対策】テーマ：夏場の水分摂取		
実施日・時間	2018年7月26日、8月1日		
実施場所	恵愛荘ショートステイ・会議室		
対象者	ショートステイ入所者及び施設入所者 スタッフ		
対象者数	70人		
主催者人数	管理栄養士 3人 その他（看護、介護スタッフ）		
事前準備	栄養のおはなしができるようPC、資料、媒体準備		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））		
当日の流れ	11：20 会場設営 11：30 講話、実習（水分の取り方） 11：50 質疑応答 12：10 昼食（キウイ、） 15：00 おやつにヨーグルト 10：00 野菜ジュース		
イベントを通じて得られた効果	利用者様への栄養面からのアプローチ コミュニケーションの獲得		
エピソード （対 対象者）	熱中症にならないように気を付けたい 栄養士から話が聞けてうれしい また聞きたい、もっと勉強したい		
エピソード （対 主催側）	日頃余り機会がなかった栄養指導だったので事前準備から当日に至るまで 多くのスタッフとのかかわりが増え良いイベントとなった		
イベント後の 新たな取り組み	おやつ作りの参加や地域への貢献		
次期実施者への メッセージ	身近な健康や栄養のお話を自分自身が楽しく参加できました。 とても貴重な体験でした。ありがとうございます		
所属職域	福祉		
実施主体	恵愛荘	所在地	長崎県諫早市有喜町 593-1
電話番号	0957-28-6570	担当者	本田

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【デイサービス寿荘福祉講座（ほっとカフェ）】 テーマ：健康長寿の秘訣を栄養から（自己チェックからサルコペニア予防を）
実施日・時間	平成 30 年 8 月 9 日
実施場所	特別養護老人ホーム山陽寿荘 地域交流スペース
対象者	イベント参加、デイサービス利用者、当日面会者、山陽寿荘利用者、職員
対象者数	125 人
主催者人数	管理栄養士 1 人／栄養士 1 人 その他（デイ職員 1 人、施設調理員 4 人、介護主任、副主任、居宅介護支援専門員 2 人）
事前準備	回覧版の活用、町内掲示板、地域の店舗、図書館への掲示、 入居者家族への郵送など広く案内を行った。職員対象の資料も PDF から準備した。
周知方法	■ 栄養士会提供資材の活用（■ ポスター ■ チラシ □ ホームページ） ■ 自施設のホームページ ■ 独自に作成（□ ポスター ■ チラシ ■ その他（入居者家族宛のお知らせ）
当日の流れ	11:00 面会者への配布（栄養ワンダー2018） 12:00 特養ご利用者への提供 13:05～13:15 子育て世代職員（食育編）／ 16:00～16:10 シニア世代職員（シニア編） 13:30～15:05 【栄養ワンダーメインイベント】福祉講座ほっとカフェ①BMI について ②体調やお食事の自己チェック③試食＆フリートーク（健康志向について）④まとめ
イベントを通じて得られた効果	低栄養やサルコペニアについて運動と栄養で予防していくことの大切さを伝えるため、各自の BMI やチェックシートで現在の体調に関心を持っていただいた。BMI が低値（高値）であったり、食事バランスが今少しであったり、フレイルティ傾向だったり、気を付けていただきたいポイントを具体的に理解していただくことができた。
エピソード （対 対象者）	フリートークで、ご自身の健康自慢やどうしたら元気で過ごせるかなど、にぎやかに会話が進んでいた。健康に前向きな人や後ろ向きな人、それぞれのモチベーションで真剣でもあり愉快でもあった。後日、生活状況についての相談をされた方もいる。
エピソード （対 主催側）	地域の参加人数が予想できず、サンプル 100 個を戴くにあたり配布方法に思案した。結果、ご利用者には給食のデザートで提供。職員を中学生以下の子育て世代とシニア世代に分け、協賛の PDF から資料を準備し簡単な説明と残りの冊子やサンプルを配った。
イベント後の 新たな取り組み	新たな取り組みはないが、県栄養士会広報誌へのイベント実施内容について掲載予定。 地域包括と総合事業への栄養講話にて、前年から同じ内容で指導助言を継続している。
次期実施者への メッセージ	分かりやすく丁寧な指導媒体が戴けるので、地域の方だけでなく職場のスタッフにも栄養の大切さを短時間で伝えられる。施設職員で情報の共有を図りながら栄養ワンダーのイベントに取り組むと、より楽しく実施できる。
所属職域	福祉事業部

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー 2018】テーマ： たのしく食べる カラダよろこぶ		
実施日・時間	① 2018年7月3日、5日 12:00～		
実施場所	社会福祉法人いちようの里 障害者支援施設みずほ学園 食堂		
対象者	障害者支援施設みずほ学園の入所者、 障害者支援施設みずほ学園のデイサービス利用者 障害者支援施設みずほ学園の職員		
対象者数	144人		
主催者人数	栄養士 1人		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・重度の障害の方：キウイフルーツについて、皮をむいてカットして提供 ・軽度の障害の方：キウイフルーツを消毒洗浄しカットスプーンで自分でカットして頂く 		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（■ポスター ■チラシ □ ホームページ） □ 自施設のホームページ ■ 独自に作成（□ ポスター □ チラシ ■ その他（デイ利用者家族に向けてのお知らせ）） 		
当日の流れ	<p>10:00 キウイフルーツの消毒・洗浄を行い、重度の障害の方に提供するキウイフルーツの皮むき、カットを行う。食堂テーブルに栄養ワンダーブックを配る。</p> <p>12:00 ご利用が手洗いを済ませ着席後開始する。</p> <p>栄養ワンダーブックを使って、エネルギーを摂ること、エネルギーの使われ方いろいろなものをバランスよく摂取すること、おいしく楽しく食べることを話し、提供商品の説明後、軽度の障害の方にキウイをカットスプーンでカットの仕方のデモを行い、各々カットをして12時10分頃終了する。</p>		
イベントを通じて得られた効果	日ごろ直接食材に触れる機会が無いご利用者にとって、キウイフルーツを知らない方も居られ、自分でカットして食べるという（見て・触って・切って・味わう）楽しみに触れることが出来たことがとても良かったです。		
エピソード (対 対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ・キウイフルーツを知らないご利用者が居られ、キウイを認識することができました。 ・ザグリークヨーグルトについて、「新商品！見たこと無い！」と喜ばれていました。 ・缶コーヒーばかり飲んでいる方が野菜ジュースも買って飲むようになりました。 		
エピソード (対 主催側)	<ul style="list-style-type: none"> ・お話しだけでは聞いていただくことが困難な方たちに、わかり易い栄養ワンダーブック、試食、試飲が伴うことで説明がし易く、コミュニケーションがとりやすかったです。 		
イベント後の新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・給食にフレッシュフルーツを使用することは余り無かったのですが、キウイフルーツを使用するようになりました。 		
次期実施者へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養ワンダーブックを使うことによって栄養についての理解度が高まり、更に提供品がいただけることで、イベントへの興味を持って参加していただけたと思います。 		
所属職域	千葉県栄養士会 福祉事業部		
実施主体	障害者支援施設みずほ学園	所在地	千葉県勝浦市大森上植野入会地 13-2
電話番号	0470 (76) 4321	担当者	末吉弥生

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【美味しく食べて楽しく運動しよう】 テーマ：たんぱく質、ビタミンを摂りしっかり運動するための体作り
実施日・時間	2018年8月19日
実施場所	健康増進施設ウエルネス KANAHA
対象者	地域住民
対象者数	138人
主催者人数	管理栄養士 2人 その他（トレーナー 1名・誘導）
事前準備	ポスターを張り施設利用者に声掛け
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	10時に開始し数人のグループごとに説明したり、個別で説明したりと来所した方々に対応。 ヨーグルトはその場で摂取して頂きキウイと野菜ジュースは持ち帰っていただく。それぞれの商品の説明。 食事に関する質問等を受ける。
イベントを通じて得られた効果	キウイ等の食材を手渡す事で話を聞いてもらえる。
エピソード （対 主催側）	上司に栄養士とはどんな仕事（どんな話）をするのか、よく把握していなかったがイベントを見て分かったと言われる。
イベント後の新たな取り組み	栄養に関する相談が増えたため個別に対応することとなった。
次期実施者へのメッセージ	商品を手渡ししながら直接栄養の話ができるので、相手の反応がよくわかる。 楽しいイベントでした。
所属職域	管理栄養士

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【在宅介護者のつどい 高齢者の低栄養予防】 テーマ：高齢者の低栄養予防の食事・間食について知り、具体案を考える
実施日・時間	2018年7月14日 14:00～15:10
実施場所	カノーブス☆羽生 デイサービスセンター
対象者	通所高齢者（利用者、50～80歳代） 在宅介護者（家族）
対象者数	21人
主催者人数	管理栄養士 1人 その他（施設:介護支援専門員 3名 介護職 5名）
事前準備	対象者が高齢者なので、冊子の他、配布資料は文字を大きくイラスト入りの物も用意した。 前日：施設に訪問し、配布物を袋に詰めた。果物も分配セットし、冷蔵保存を継続。 ヨーグルト、果物の配布時間を施設担当者と打ち合わせた。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	13:30 会場設営、配布資料を席にセットした。 14:00 講和 14:40 途中ヨーグルトを配布、食した。 15:10 終了時に果物・野菜ジュースを配布した。
イベントを通じて得られた効果	情報が多い中で、対象者にとって適切な情報を伝えることができた。 管理栄養士として正しい情報を伝えることができた
エピソード （対 対象者）	高齢夫婦からは、「TVとかでいろいろやっているが、質問もでき、お話が聞けたのでよくわかった。頑張って、長生きできるようにしたい、早速サンプルを購入したい」 介護者からは、「日頃気になっていたことを確認できたので良かった」との意見が出た
エピソード （対 主催側）	施設：（自分自身が）食事の大切さを再認識した （対象の高齢者の様子）寝てしまうかと思ったが、最後まで熱心に聞いていて驚いた 担当栄養士：質問も多く、熱心に聞いていた。 TV情報が、自分にとって必要なか、否か判断できない方もいるのを感じた
所属職域	地域活動（施設より依頼され、講和を行う中で、栄養ワンダーを実施した）

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【七夕まつり】テーマ：野菜を食べて大きくなろう		
実施日・時間	平成30年7月6日 金曜日		
実施場所	さくら市立たいよう保育園		
対象者	保育園 乳児 幼児 保護者 地域の未就学児とその保護者		
対象者数	300人		
主催者人数	管理栄養士 1人		
事前準備	大きな野菜ジュースの写真 同量の野菜の写真作成 具だくさんみそ汁の写真 目で見て野菜量を認識してもらった。噛んで食べる野菜の大切さも伝える		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ())		
当日の流れ	9:00～ ピアノ・フルートコンサート後 10:00～ 野菜や果物の大切さ 10:15～ 噛んで食べるとどうしていいの？ (15分間) 11:00～ 保育園給食でヨーグルトを提供		
イベントを通じて得られた効果	野菜・くだものの必要性を子どもたちが理解してくれた。 甘みの少ないヨーグルトの味を子どもたちが体験できた		
エピソード (対 対象者)	野菜ジュースは、野菜汁50%+果汁50%のものを飲みなれているらしく、「野菜ジュースはおいしくなかったよ。でも、キウイフルーツはとっても甘くて美味しかった。」と、知らせてくれました。		
エピソード (対 主催側)	こんなに、たくさんサンプルを頂けて、子どもたちも大喜び。皆さんタダに弱い。食育活動を楽しく実施することができ、大喜びですと、園長。キラキラした瞳で話を聞いてもらえて、大満足でした。		
イベント後の新たな取り組み	各クラスを訪問し、野菜・果物の大切さを確認している		
次期実施者へのメッセージ	サンプルがたくさん頂けて、イベントで食教育をするにはとても有難いです。実際に食べて感想がもらえるので、食傾向を感じ取ることも出来ました。		
所属職域	地域活動		
実施主体	さくら市立たいよう保育園	所在地	栃木県さくら市松山796-1
電話番号	090-3522-0435	担当者	齋藤 享子

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 8/4 は栄養の日 （糖尿病教室） 】 テーマ：栄養の日の周知と糖尿病の啓蒙活動		
実施日・時間	2018年8月3日 14:00～15:00		
実施場所	市立宇和島病院 北棟 講堂		
対象者	糖尿病患者及びご家族、栄養に興味のある人		
対象者数	100人		
主催者人数	管理栄養士 2人、その他（医師1人、臨床検査技師2人）		
事前準備	チラシに栄養の日のイベントであることやヨーグルトやキウイの配布があることを記載。入院患者は医師に事前に確認しその場で食べることができない旨を周知		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
当日の流れ	13:00～ 受付、血糖測定、サンプル提供 14:00～ 講義 管理栄養士 山崎幸 14:30～ 講義 糖尿病専門医 宮内省蔵 15:00～ サンプル提供（～15:10）		
イベントを通じて得られた効果	栄養の日の周知と糖尿病の啓蒙活動を目的に実施した。西日本豪雨の被災地であったにも関わらず、普段の糖尿病教室よりも参加者が多く関心の高さが窺え、サンプル提供の効果もあり目的は達成できた。		
エピソード （対 対象者）	サルコペニアに対するたんぱく質の多いヨーグルトに興味を示す患者が多く、購入先を知りたいとの反響が多かった。愛媛県はキウイの生産量日本一（2016年）のためキウイが身近な食品であり、さらに理解が深まり適正量を摂りたいとの声が聞かれた。		
エピソード （対 主催側）	糖尿病教室の周知の時に栄養の日のイベントであることがわかるように別にチラシを作成したので、院内スタッフから参加対象者についての問い合わせなど反響があった。		
イベント後の新たな取り組み	サルコペニア予防に対する、身近な高たんぱく質食品を積極的に周知するなど。		
次期実施者へのメッセージ	講義とサンプル提供で「栄養の日」の周知が病院内外にできるいい機会だと思う。		
所属職域	医療		
実施主体	市立宇和島病院 食養科	所在地	愛媛県宇和島市御殿町 1-1
電話番号	0895-25-1111	担当者	山崎幸

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018】テーマ：栄養士の仕事を知ってもらおう！		
実施日・時間	平成30年8月8日（水）		
実施場所	JCHO 宇和島病院 正面玄関ホール		
対象者	JCHO 宇和島病院 外来患者とその家族		
対象者数	200人		
主催者人数	管理栄養士 4人		
事前準備	前日に机、椅子、冊子等、当日配布ができるように準備をした。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（外来・リハビリスタッフに周知依頼）		
当日の流れ	9：00～ キウイなど配布物の袋詰め 10：00～ 管理栄養士4名でイベントの説明、サンプル商品の配布、栄養相談の実施。 ～12：45 サンプル商品がなくなった時点で終了		
イベントを通じて得られた効果	サンプル商品はどれもすぐに摂取可能なもので勧めやすかったし、受け入れも良かったように感じた。配布商品があることでブースに寄って来られ、商品の栄養素について説明ができた。商品を通じていろいろな説明ができたので、相手に理解して頂けたように感じた。		
エピソード （対 対象者）	配布時：「ゴールデンキウイは家でも食べています。」と何人もの人に言われた。 後日：ヨーグルトを食べて美味しかったので、購入しました。 配布した「冊子を何回も読みました。」と話に来られた。		
エピソード （対 主催側）	サンプル商品を受け取る人に誰一人アレルギーがなかったのが不思議であった。		
イベント後の新たな取り組み	当院の健康教室で冊子を使用し、「栄養の日」「栄養士の仕事」について説明をした。熱心に聞いていただいた。		
次期実施者へのメッセージ	暑い時期の生ものなので準備等大変な事もあるが、外来患者・市民に対し「栄養について」また「栄養士の仕事」等、話すいい機会になるので、参加者とともにイベントを開催してほしい。		
所属職域	医療事業部		
実施主体	JCHO 宇和島病院	所在地	愛媛県宇和島市賀古町 2-1-37
電話番号	0895-22-5616	担当者	久保田紀江

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【目指せ 100 歳！！低栄養を防ぐために・・・食事を通じて健康寿命を延ばそう】 テーマ：何をどれだけ食べたら良いの？食事のバランスについて
実施日・時間	平成 30 年 7 月 12 日（木）・13 日（金） 13：30～15：30
実施場所	介護老人保健施設 音羽えびすの郷 10 階フロア
対象者	地域住民および施設職員
対象者数	52 人
主催者人数	管理栄養士 2 人、その他（総務職員、社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター）
事前準備	施設が開所して間もないことから、ポスターを早い時期から掲示、配布した。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）
当日の流れ	12：30：会場準備 13：30：受付開始 14：00：施設長挨拶 14：15：講義開始 14：45：口腔体操 15：00：懇親会および試食 15：25：アンケート回収 15：30：終了
イベントを通じて得られた効果	① 地域の方々に施設の認識を高められた。 ② 食に関わること、健康・栄養をテーマにした研修は集客に期待が持てる。
エピソード （対 対象者）	今後も定期的に介護予防講習会を行って欲しい。 サプリメントについて学びたい他
エピソード （対 主催側）	初対面の方々ばかりでしたが、試食や試飲があることによって、参加人数が増えた傾向も見受けられた。
イベント後の新たな取り組み	第 2 回目の介護予防講習会を実施することが出来た（平成 30 年 11 月）
次期実施者へのメッセージ	今回の様に、試食や試飲があると、懇談会のようにグループで相互に話し合える時間が設けられるため、非常に良いと感じた。また、栄養士会としての認知度も高まると思う。
所属職域	福祉

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 知ってますか？栄養の日 】 テーマ：栄養って何？ 子供からお年寄まで知ってほしい栄養のコト。日頃の食習慣を振り返ってみましょう。		
実施日・時間	8月1～3日、6日、7日（10：00～10：10、11：00～11：10）		
実施場所	ヘルシーカフェ ohana 内科・糖尿病内科・小児科患者待合、併設した運動施設(リユース)、休憩室		
対象者	当院通院患者とその家族。新聞告知で来店した方。スタッフ。		
対象者数	160人		
主催者人数	管理栄養士 2人		
事前準備	小児科、内科、糖尿病内科、カフェ、運動施設、スタッフ対象に合わせた講話にした。 視覚で理解できるように、パネルを作成した。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（テレビ、新聞、ラジオの取材）		
当日の流れ	おやつについての栄養講話 20分 10：00～ 小児科、内科、糖尿病内科 11：00～ カフェ、(休憩室、運動施設どちらか)		
イベントを通じて得られた効果	栄養の日の周知。栄養についての関心が広がった。		
エピソード (対 対象者)	栄養摂取が足りているのか、おやつの内容などを熱心に質問されていました。 (小児科へ受診した母親) 気軽に栄養士と話しができて良い機会になったという声があった。		
エピソード (対 主催側)	栄養の日イベントをテレビで放送された(夕方のローカルニュース 1～2分)		
イベント後の新たな取り組み	仕事の隙間時間に、ミニ栄養講話を実施出来ないか検討中		
次期実施者へのメッセージ	参加者は興味深く講話を聞いてくれました。実施者も参加したい参加型のイベントを計画すると良いと思います。		
所属職域	医療事業部		
実施主体	ハートライフクリニック	所在地	沖縄県中城郡西原町字掛ヶ保久 288 番地
電話番号	098-882-0810	担当者	新垣 優子

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【美味しく食べて 低栄養予防】テーマ：美味しく食べて低栄養予防する
実施日・時間	2018年7月11日、12日 15:00～15:20
実施場所	通所デイサービス
対象者	通所デイサービス利用者、通所デイサービススタッフ、事務所スタッフ
対象者数	130人
主催者人数	管理栄養士 5人、通所デイサービススタッフ 20人、事務所 10人、実習生 2人
事前準備	指導媒体の準備 1日目：たんぱく質を食べよう！ 2日目：主食・主菜・副菜を揃えよう！
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	午前中に配布資料の袋詰め 15:00～15:20 通所デイサービスのおやつの時間を利用して、ホワイトボードに指導媒体を掲示し、栄養について講話しました。
イベントを通じて得られた効果	通所デイサービスの利用者の方々への栄養についての講話は初めてでしたが、皆さま熱心に聞いていらっしゃいました。
エピソード (対 対象者)	2日目は利用者の方々の椅子の配置を変える事で、質問が多くありました。
エピソード (対 主催側)	7月の大雨災害によって、予定日にイベントの食材が揃わなかったため、日程を変更しました。また、キウイフルーツは結局届かないため、ヨーグルトの賞味期限を考慮して日程調整を行いました。
イベント後の新たな取り組み	8月1日の病院全体朝礼の一言担当になり、病院スタッフへ8月4日は「栄養の日」である事を伝える機会がありました。栄養ワンダーのポスターを掲げて、栄養について考えていただくように伝えました。
所属職域	医療

「栄養ワーカー2018」実施報告

イベント名	【職員研修「栄養ワーカー」】 テーマ：生活習慣病と疾病の関係を学ぶことで職員各々の「食べること」をはじめとする生活習慣を見直す機会とします。		
実施日・時間	平成30年8月29日（水）10：30～11：00		
実施場所	会議室		
対象者	障害者支援施設 高嶺園の職員		
対象者数	50人		
主催者人数	管理栄養士 1人		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの作成（肥満、高血圧、脂質異常症、高血糖について） ・アンケート用紙の準備（家庭での味付、果実の摂取習慣、減塩の日常的な取組等） 		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資料の活用（<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）） 		
当日の流れ	<p>10：30 パワーポイントにより栄養ワーカーの趣旨・テーマについての説明</p> <p>11：00 アンケート用紙の記入（～11：15）</p>		
イベントを通じて得られた効果	<p>対象者が、自分や家族の健康へのとりくみについて見直す機会になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康のためには食事が大切（塩分の摂り方、野菜のとりかたなど）を再認識できた。 ・食生活のことについて、もっと本気で考えないといけないと感じた。 		
エピソード （対 対象者）	<p>（対象者によるアンケート結果より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での味付が、外食と比べて「少し濃い」「濃い」・・・22% ・果物を食べる頻度「週1回未満」「食べない」・・・32% ＊果物を食べる習慣がない割合が予想より多かった。 		
エピソード （対 主催側）	<p>（対象者によるアンケート結果より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士にとって当たり前に見えることが、対象者にはそうではないことがあることを、栄養士は認識して話してほしい。 		
イベント後の新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の職員研修で「自分や家族の健康へのとりくみについて見直す機会とすること」を目的に栄養をテーマにしたものを実施する予定となった。 		
次期実施者へのメッセージ	<p>対象者に理解していただくためには、テーマをしばってできるだけ丁寧に話すとうよいと思います。</p>		
所属職域	福祉施設		
実施主体	障害者支援施設高嶺園	所在地	山口県宇部市大字川上 714 番地 11
電話番号	0836-32-1321	担当者	藤井美由紀

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【なの花薬局栄養ワンダー2018】 テーマ：家族みんなで食を学び、楽しく食べてもらいたい。
実施日・時間	平成 30 年 8 月 26 日
実施場所	名張市武道交流館いきいき
対象者	名張市の地域住民
対象者数	90 人
主催者人数	管理栄養士 5 人／栄養士 1 人、その他（薬剤師 3 名 スタッフ 4 名）
事前準備	高齢者から小さいお子様までみなさんに来て頂きたかったので、食育コーナーとして魚釣りゲームを用意した。また、体組成計の測定コーナーで結果を持って帰れるように専用の用紙を作成した。
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） ■ 独自に作成（<input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	<p>9：00～ 施設を借りたので 1 時間で準備</p> <p>10：00～イベント開始。</p> <p>子供には食育の魚釣りゲームを体験してもらい、大人には体組成計を使った測定を受けてもらう。測定した方は隣にある栄養相談コーナーで測定結果を詳しく聞いたり、食事について説明を受ける。そしてヨーグルトの試食コーナーへ回ってもらい、最後にお土産として野菜ジュースとキウイをパンフレットと共にお渡した。</p> <p>11：30～薬剤師による講話</p> <p>13：30～は管理栄養士による講話を行い（～14：00 終了）</p>
イベントを通じて得られた効果	私たちには当たり前前のエネルギーの話も、来客者は興味津々に聞いて下さり、このような場は大切だと感じた。測定を待たれている来客者に対して食事で困っていることはないか？と尋ねると、お話し下さる方が多かった。このように気軽に食事について話せる環境はとてもいいなと感じた。
エピソード (対 対象者)	試食してもらったギリシャヨーグルトだが、あまり認知がなく、召し上がられた方からは「こんな食感のヨーグルトは初めて！」「おいしい。」と話して頂き、そこからたんぱく質の摂取について詳しく説明出来、試食がいきっかけになっていた。
エピソード (対 主催側)	エネルギーについてお話する中で、日本栄養士会が提供して下さった冊子はとてもわかりやすく見た目もかわいかったので、抜粋したものをラミネートし、紙芝居形式でお話する場面もあった。
イベント後の新たな取り組み	薬局での取り組みで管理栄養士・栄養士が主となって栄養相談会や椅子に座りながらできるヨガを行い、地域の方々が食や運動を通してご自身の健康を維持、増進出来るようにサポートする取り組みを行っている。
次期実施者へのメッセージ	今回初めて栄養ワンダーに参加したが、他の会場でも参加者にとっても喜んで頂けた。何より私達も充実した時間を過ごすことが出来た。次回もされるならば是非参加し栄養の日を広める活動をしていきたいと思う。
所属職域	医療

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【フードサイエンス・栄養クイズ】 テーマ：子供から大人まで、栄養の楽しさを知ってもらう。		
実施日・時間	7/28、8/5、8/19、8/25		
実施場所	鎌ヶ谷翔裕園、いちかわ翔裕園、ふなばし翔裕園、行徳翔裕園		
対象者	デイサービス利用のお客様、ご家族様、地域の方々、職員		
対象者数	総計 520 (4日間) 人／栄養指導者数 大人 50～100、子供 40～80 人		
主催者人数	管理栄養士 3 (日) 人、その他 (2名程)		
事前準備	子供向け：フードサイエンス (マイクロカプセルゼリー・フラワーキャンディー) 大人向け：栄養クイズ		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用 (■ ポスター ■ チラシ □ ホームページ) ■ 自施設のホームページ ■ 独自に作成 (■ポスター □ チラシ ■その他 (看板)) 		
当日の流れ	<p><子供向け> フードサイエンス会場の準備 →納涼祭が始まると同時に、来園した子供たちに呼びかけ →フードサイエンスの実験を随時開始。(1人平均で10分)</p> <p><大人向け> 納涼祭が始まると同時に、栄養クイズ・栄養相談・サンプリングを行う。</p>		
イベントを通じて得られた効果	親子の夏休みの思い出の一つとして、フードサイエンスの実験を体験してもらうことによって、食品の楽しさや興味を持っていただくという導入の部分での効果はあったと感じる。栄養クイズでは、子供たちの実験中にご家族の皆さんにご回答していただき、栄養相談をすることができたため、多くの人が足を止めてくれた。また、サンプリングがあることで、更に喜んでいただけた。特に、フルーツ (キウイ) については、びっくりされていた。		
エピソード (対 対象者)	食品や栄養を通して、多くの子供たちのイキイキとした笑顔を多く見ることができた。「楽しかった」・「来年も来るね」・「もう一回やってもいいですか」との多くの言葉をかけていただけた。		
エピソード (対 主催側)	地域貢献の一環として、地域の皆様 (特に子育て世代) に栄養のイベントを行うことは、高齢者施設で働く我々栄養士にとってはとても新鮮であったと同時に、主催する側としても楽しんで実施することができた。次回は、より踏み込んだ栄養のイベントに繋がれるとよい。(今回は大々的に栄養士が行っているイベントであることをうたっていないかったため。)		
イベント後の新たな取り組み	地域貢献として、食事のイベントを行っているため、そこに栄養のイベントも取り入れていけるようにする。		
次期実施者へのメッセージ	イベントをどのように盛り上げていくのかを考えるのはとても頭を悩ませましたが、いつもの業務とは違う栄養士としての役割を感じることができ、新鮮な経験をさせてもらえました。また、是非参加させていただきたいと思っています。		
所属職域	福祉 (千葉)		
実施主体	長寿の里	所在地	鎌ヶ谷市初富 848-10
電話番号	047-498-5715	担当者	戸川 愛



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養と運動のはなし】 テーマ：高齢者の栄養と運動の必要性に気づき実践できる
実施日・時間	2018年8月4日 14:00~15:30
実施場所	西奈良中央病院
対象者	病院近隣住民
対象者数	50人
主催者人数	管理栄養士 3人、その他（事務員3人 院内理学療法士1人）
事前準備	開催日時・場所の変更があったため、案内のチラシ300枚を独自で作成し配布した。会場には運動がしやすいよう広さを確保した。また栄養ワンダーからのサンプル以外で普段活用している栄養補助食品や治療に役立つ食品なども展示した。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他）
当日の流れ	12:00～ 会場設営 13:00～ 院内案内表示 13:30～ 案内・呼び込み 14:00～ エネルギーの話（管理栄養士） 14:40～ 運動の話（理学療法士） 15:00～ 個人面談
イベントを通じて得られた効果	病院管理栄養士の認知度の向上 今後のイベントに対する期待
エピソード （対 対象者）	病院の施設内でスタッフの方々とゆっくり話ができてうれしいとの声もあった。このようなイベントを開催してほしいと期待された。
エピソード （対 主催側）	本来開催予定は7月25日 病院近隣の自治会夏祭りであったが、台風の影響で中止となった。送られてきたサンプルが無駄にならないようにと消費期限ぎりぎりの日程を設定し、急遽上記の内容で院内での開催に変更した。開催の案内は延期になった夏祭りでチラシを配り管理栄養士以外のスタッフの協力を沢山頂いた。病院管理者の許可もぎりぎりであり、勤務状況も変更し、とても大変な作業でした。
次期実施者へのメッセージ	夏場 屋外での開催は食品の管理や気象状況にも配慮が必要である為、できれば屋内で開催できるように進める
所属職域	医療職域

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【公開型勉強会】 テーマ：職員の健康増進への取り組み
実施日・時間	平成 30 年 7 月 31 日・8 月 1 日 時間 11：30～13：30（2 時間の間出入り自由）
実施場所	院内研修室
対象者	病院関連職員
対象者数	175 人
主催者人数	管理栄養士 6 人
事前準備	提供資料冊子を事前に拡大コピーし、項目ごとに内容を読んでもらえるように展示。 また、プリント（自分の BMI 計算、問題・クイズ 5 問、感想欄など）を準備。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（提供資料冊子利用））
当日の流れ	当日は、展示物を見て各自プリントを受け取り内容を記入 （自分の BMI 計算、問題・クイズ 5 問、感想など） その後、ヨーグルトの試食を行い、 最後にプリントを提出し野菜ジュース、キウイ、資料の詰め合わせセットを受け取り終了。所用時間は、 15 分～30 分程度
イベントを通じて得られた効果	資料をポスター形式にて展示し、記述による参加型の勉強会にしたことで、各自熱心に取り組む姿が多くみられました。（参加後の感想、意見についても好評でした。）
エピソード （対 対象者）	ヨーグルトの試食や、野菜ジュース、キウイなどのプレゼントについての反響が大きかったです。
エピソード （対 主催側）	実物野菜の 350 g あてクイズは、参加者どうしによるコミュニケーションに繋がっていた。
イベント後の新たな取り組み	職員の健康増進については、2 年前より活動を行っており今後も継続予定。 また、当院では地域の方へ毎月健康教室を開催しており、栄養ワンダーについて紹介できればと考えています。
次期実施者へのメッセージ	提供資料がとてもわかりやすく、拡大コピー可能であったことからとても使いやすかったです。
所属職域	医療

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 栄養ワンダーin河田 】 テーマ：夏を元気に乗り切りましょう！		
実施日	2018年8月3日・6日・16日・18日		
実施場所	河田病院 若草幼児舎 特別養護老人ホーム サービス付き高齢者住宅		
対象者	入院患者 病院職員 幼稚園児 福祉施設入居者 地域住民		
対象者数	730人		
主催者人数	管理栄養士 9人／栄養士 1人 その他（看護師9名 作業療法士5名 調理師14名 介護福祉士2名）		
事前準備	河田グループでは幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方とかがわっており、地域との繋がりも密です。今回はサンプリング商品を各々の年齢層に合わせてメニューに組み込み給食として、また食育の教材として活用することにしました。前は病院のみの参加でしたが、今回は夏祭り等を活用して、地域住民の方々へも広く周知できるよう考えました。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ） <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（他職種にも協力してもらい情報を周知）		
当日の流れ	【病院・特養・サ高住・職員】 昼食の給食として提供（12：00～13：00） 職員（11：30～14：00） 【幼児舎】 おやつ時間に提供（14：30～15：00） 【夏祭り：地域住民】 栄養指導と共にサンプリング商品を提供（16：00～20：00）		
イベントを通じて得られた効果	【病院・特養・サ高住・職員】 「栄養の日」に対する理解が深まったと感じました。普段何気なく食べている食事（栄養素）の大切さを再認識して下さったように思います。 【幼児舎】 食事やおやつを食べることで「元気」になれること、好き嫌いをなく食べることの大切さを学んでくれたように思います。 【地域住民】 様々な食に関する悩みや相談が寄せられました。「栄養の日」の意義を説明するとともに、食事の重要性を理解していただけたと思います。		
エピソード (対 対象者)	地域住民 A 氏 糖尿病の既往あり。単身生活で食事時間が不規則。野菜嫌いで便秘傾向。 サンプリング商品及び冊子、チラシで食事の改善点を説明する。後日あった時には、朝食にはヨーグルト、忙しい時には野菜ジュースを飲むようになったとのこと。		
エピソード (対 主催側)	イベント実施時に、他職種の方々もとても興味を持ってくださり、様々な場面で話題になることが多くなりました。施設内での連携が強まりました。		
イベント後の新たな取り組み	集団での栄養教室等で、栄養ワンダーの冊子やチラシを活用しています。 地域での健康イベントにも同様に冊子等を活用しています。		
次期実施者へのメッセージ	イベントを通して多くの人とのつながりができます。 難しいと考えず、楽しんで参加していただきたいと思います。		
所属職域	医療事業部		
実施主体	一般財団法人 河田病院	所在地	岡山県岡山市北区富町 2-15-21
電話番号	086-252-1231	担当者	宇野 富美子

「栄養ワゴン2018」実施報告

イベント名	【 バイキング給食 】 テーマ：入院患者様が希望の料理を聞き取り、提供し食意欲を上げる		
実施日・時間	平成 30 年 8 月 3 日 11：35～12：45		
実施場所	(医)衿正会 生駒病院 談話室		
対象者	入院患者様		
対象者数	60 人		
主催者人数	管理栄養士 2 人／栄養士 1 人、その他（調理師 1 人 看護師 1 人 介護者 2 人）		
事前準備	調理師が事前に患者様から食べたい料理を聞き取り、メニューを考える。聞き取り時に、フルーツ・ヨーグルト・野菜ジュースの希望は出ないので、聞き取った内容からメニューに組み込んだ。会場に参加しない患者には給食にて提供。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ()		
当日の流れ	9：00～ 調理開始 11：10～ 会場設営 11：35～ 患者様が会場へ移動 11：40～ 料理ワゴンを移動 11：45～ ポスター・チラシ・冊子を使用して管理栄養士がプレゼンテーションを行う 11：50～ 食事開始。随時、質問等に答える。		
イベントを通じて得られた効果	入院患者様は高齢の方が多く「栄養の日」を覚えてもらう事は難しいが、一緒に参加した介助者には意識付けが出来た。冊子は待合室・談話室・職員食堂へ設置。冊子の内容は、興味深い事が多いようで持ち帰る人が多かった。		
エピソード (対 対象者)	キウイフルーツをきれいに飾り切りして盛り付けたので目を引き、喫食意欲もわき、手を伸ばす方が多かった。「昔は輪切りにして食べた」「半割にしてスプーンで食べた」「黄色いキウイなんて昔は手に入らなかった」など会話のきっかけにもなった。		
エピソード (対 主催側)	まだまだ、「栄養の日」が周知されていないと感じるが、少しのプレゼンテーションでスタッフも「そうなんだ」と患者様と一緒に理解できた。		
次期実施者へのメッセージ	活動自体は難しい内容ではありません。報告書もアンケートの様な形式で簡単に答えられます。品物も安心安全で無料なので取り組みやすいです。いつもと違う食材が付くと患者様にも喜ばれるので当院では実施してよかったと感じます。		
所属職域	医療		
実施主体	(医)衿正会 生駒病院	所在地	兵庫県川辺郡猪名川町広根九十九番地
電話番号	072-767-2230	担当者	本田美佐子

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワーカー2018」実施報告

イベント名	【 栄養ワーカー 】テーマ：おいしく食べて、健康になろう
実施日・時間	平成 30 年 7 月 16 日～20 日、10：00～11：30
実施場所	鎌取晴山苑
対象者	入所、生活介護Ⅱ、施設職員
対象者数	120 人
主催者人数	管理栄養士 1 人／栄養士 1 人 その他（看護師、生活支援員、支援相談員）
事前準備	ポスター掲示、施設利用者家族への案内発送、参加者グループ分け
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）
当日の流れ	9：30 アナウンス、準備 10：00 開始 10：45 試食 11：30 終了
イベントを通じて得られた効果	<u>目的に対する成果</u> ：食事に関心をもっていただけるようになった <u>その他の効果</u> ：今までこういった活動をおこなったことがなかったので、施設としては、世間と通じられたような、良い体験となりました。が、普通に生活している方々ではないので、利用できない資料が少ないのが残念でした。
エピソード (対 対象者)	毎回、話を聞きに来てくださる利用者がありました。ヨーグルトもキウイもおいしかったと、みなさんニコニコでした。理解出来る方は少ないのですが、食べる事には関心があるので良い機会になりました。利用者ご家族の関心も高かったです。キウイのスプーンがすごく使いやすかったのと、キウイがちょうど良い熟れ具合でした。
エピソード (対 主催側)	利用者の介助にあたっていた職員も参加できました。職員の方が熱心に話を聞いてくれていました。
イベント後の新たな取り組み	日中活動で、食事を意識したイベントが増えました。
所属職域	福祉事業部

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【薄谷六月灯（地域の夏祭り）】 テーマ：地域住民に対する栄養指導、相談
実施日・時間	平成 30 年 7 月 22 日
実施場所	薄谷地区多目的広場（⇒雨天のため薄谷公民館）
対象者	地域住民、福祉施設利用者、職員、職員の家族
対象者数	150 人
主催者人数	管理栄養士 1 人、その他（看護師、生活支援員、機能訓練指導員、調理師、約 30 名）
事前準備	パネル作成、関連職種への周知、地域の観覧版での周知
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）
当日の流れ	17 時までには雨天のため、公民館での実施の連絡有 場所の確保、案内のポスター等張り出す 18 時 祭りスタート 21 時 片づけ
イベントを通じて得られた効果	地域のイベントでの「顔の見える関係作り」は出来ていたが、さらに深まったといえる。関連施設からの参加もあり、喜ばれた。
エピソード （対 対象者）	今回は実施当日、雨天となってしまう、自分が思ったようには動けなかった。高齢の方が多く地域であるがゆえに、高齢者の家族の方への相談が多くなった。商品がヨーグルトやキウイであったため、女性の方には好評であったが、男性には「お土産に持って帰ろうかな」といった声が聞かれた。日頃から野菜ジュースを飲んでいる 30 代の女性は「野菜を努めてとるようにしているが、なかなか摂ることが出来ない。これを飲んで明日も頑張ります」と配布の野菜ジュースを美味しく飲まれた。
エピソード （対 主催側）	あいにくの雨天となり、準備もバタバタとなったが、逆に地域の方から手伝おうかと声をかけていただいて「（地域の）私たちのためにありがとうね～」と書いていただいた。
次期実施者へのメッセージ	今回は施設周辺の地域の方が対象であったが、大きなイベントでもやれたのかなと感じました。一般市民の方に栄養士が身近に感じていただけるように、施設や病院の中だけでなく、もっと外に出てアピールできるようにしていけたら、いいのかなとおもいます。
所属職域	福祉

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018】 テーマ：クイズなどに参加して栄養のはたらきについておいしく学んで健康力をアップ		
実施日・時間	2018年8月4日 10:30~15:30		
実施場所	鳥取県立未来中心 アトリウム		
対象者	一般県民		
対象者数	105人		
主催者人数	管理栄養士 8人		
事前準備	賛助会員と一緒に健康チェック、アプリを使った献立作成等を体験してもらい、また、配布食品を参考に栄養について情報を提供。アレルギーの注意について確認。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ()		
当日の流れ	9:30 集合、確認、会場設営 10:30 イベント開始 15:30 サンプル配布終了にて撤収		
イベントを通じて得られた効果	日頃、アクセスのない幼児、学童をつれた親子にイベントを通じて栄養、栄養士(会)のことを知っていただくことができました。		
エピソード (対 対象者)	子どもたちがうれしそうにお絵かきをしているのを、子どもたちはこんなことができるんだと、と、かくれたものを発見したような表情で微笑みながらみている家族連れの様子があった。		
エピソード (対 主催側)	栄養士会のイベントで普段経験したことがない、サンプル品の配布を含んだイベントで、一般の人たちとの距離が縮まったのを感じた。		
次期実施者へのメッセージ	夏休みで家族連れの多い季節のため、子供向け、親子向けの媒体を使って計画されてはいかがでしょうか。		
所属職域	医療		
実施主体	(公社)鳥取県栄養士会 中部	所在地	鳥取県倉吉市駄経寺町 212-5
電話番号	0858-23-8140	担当者	西谷

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【健康食&おだしカフェ】 テーマ：（１）食育について、様々な年齢、職業の方が広く理解できる。 （２）食育に関わる団体・市民等が、食に関する様々な情報を正しく知り、伝えることができる。
実施日・時間	平成30年8月4日（土） 10:00～14:00
実施場所	會津稽古堂1階市民ギャラリー（一部、クッキングスタジオ、工芸スタジオで開催）
対象者	市民及び市内在勤・在学者、食育ネットワーク、食に関するサービス提供者等
対象者数	120人
主催者人数	管理栄養士1人、その他（市職員、保育士等20人、派遣講師として栄養士依頼）
事前準備	目的に沿って、多様な団体の集合体である会津若松市食育ネットワーク*と協働で実施した。*保育所・幼稚園・父母と教師の会・地区栄養士会・食生活改善推進員・スーパー・事業者などが参加
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 栄養士会提供資材の活用（■ ポスター □ チラシ □ ホームページ） ■ 自施設のホームページ ■ 独自に作成（■ ポスター ■ チラシ □ その他（ ））
当日の流れ	<p>10:00～14:00 食育ネットワーク関連団体の活動紹介とクイズラリー</p> <p>10:00～13:00 「おいしく野菜&減塩 親子料理教室～お弁当をつくろう～」</p> <p>13:30～14:30 おだしカフェ：だしソムリエによる説明とだしの試飲</p>
イベントを通じて得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士と住民の皆さんの出会いの場を作ることができた。 ・身近な食材を新たな視点で見ることができた。（サンプリング商品の活用） ・見て・触って・食べて・量を確認し、「1日にとりたい量」を確認することができた。
エピソード （対 対象者）	<ul style="list-style-type: none"> ・食育関連団体の皆さんが、参加住民の皆さんと「栄養」の話題で盛り上がったり、日頃聞けない話が聞けたり、悩んでいたことの解決につながったようです。 ・栄養の視点を加えたお弁当の詰め方を学び、参加した子どもたちは、誇らしげに自分が詰めたお弁当を保護者の皆さんに見せていました。
エピソード （対 主催側）	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の皆さんの生の意見や質問を頂くことにより、これからの食育活動や、栄養指導に必要なことを考え、次に生かすことにつながりました。
イベント後の新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・参加の飲食提供事業者による新たなメニュー開発 ・参加事業者同士がつながったことによる食育プログラムの実施 ・たんぱく質補給のためのヨーグルトの活用 ・果物の必要量の啓発
次期実施者へのメッセージ	<p>栄養ワンダー2018 を活用した事業化により、目新しいプログラムとなることで、新たな参加者を呼び込むことができます。</p> <p>また、サンプリング商品や資料を活用することにより、食材の持つ特徴を知り、日頃摂取が少なめであることが懸念される乳製品や、市場に出回るものが少ない夏期における果物摂取啓発をすることができました。（熱中症予防のための摂取啓発も同時に実施）</p>
所属職域	公衆衛生事業部

「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018】テーマ：栄養と健康について考える
実施日・時間	2018年7月20日 16:00～
実施場所	田布施町立田布施中学校職員室
対象者	教職員
対象者数	40人
主催者人数	管理栄養士 2人
事前準備	数が多いので学校に併設した給食センターの冷蔵庫を借りて、サンプルを保管した。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 (<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 (<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ())
当日の流れ	16:00 職員へサンプル配布 16:05 職員へ栄養ワンダーの冊子を用い説明 16:15 サンプル喫食 16:20 アンケートのお願い
イベントを通じて得られた効果	日頃から忙しく業務をされている先生方へ、健康について考えていただくいい機会となった。たくさんのサンプルがあったおかげで、和やかな雰囲気でお話をすることができた。
エピソード (対 対象者)	1学期の終了日に栄養ワンダーをすることで、日頃よりも時間ももらいやすかった。また、たくさんのサンプルがあるので参加者もうれしそうだった。
所属職域	学校栄養教育